

## 第4期 EMS 取組結果

### 1 実行プログラム削減目標の達成状況

第4期 EMS において定められた17の環境側面のうち、具体的な数値目標が定められている項目の達成状況は次のとおりです。

表1 EMS 実行プログラム削減目標の達成状況

取組項目		基準年	第4期				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
電気の使用	実績 (kWh)	23,938,885.0	23,765,738.0	23,075,945.0	23,264,001.0	22,780,741.0	21,589,632.0
	実績 (削減率)	-	▲0.72%	▲3.60%	▲2.82%	▲4.84%	▲9.81%
	目標 (削減率)	-	▲1.00%	▲2.00%	▲3.00%	▲4.00%	▲5.00%
都市ガスの使用	実績 (m <sup>3</sup> )	469,421.0	476,977.7	520,246.0	610,540.0	657,001.4	647,888.0
	実績 (削減率)	-	1.61%	10.83%	30.06%	39.96%	38.02%
	目標 (削減率)	-	▲1.00%	▲2.00%	▲3.00%	▲4.00%	▲5.00%
LPガスの使用	実績 (m <sup>3</sup> )	12,097.1	12,489.2	12,099.8	12,858.8	11,649.3	10,078.4
	実績 (削減率)	-	3.24%	0.02%	6.30%	▲3.70%	▲16.69%
	目標 (削減率)	-	▲1.00%	▲2.00%	▲3.00%	▲4.00%	▲5.00%
灯油の使用	実績 (ℓ)	2,071,176.4	2,150,972.9	2,197,234.6	2,157,040.3	2,027,349.8	2,033,693.4
	実績 (削減率)	-	3.85%	6.09%	4.15%	▲2.12%	▲1.81%
	目標 (削減率)	-	▲1.00%	▲2.00%	▲3.00%	▲4.00%	▲5.00%
重油の使用	実績 (ℓ)	2,235,723.0	2,155,462.0	2,145,162.0	2,289,636.0	2,367,946.0	2,039,497.0
	実績 (削減率)	-	▲3.59%	▲4.05%	2.41%	5.91%	▲8.78%
	目標 (削減率)	-	▲1.00%	▲2.00%	▲3.00%	▲4.00%	▲5.00%

#### (1) 電気の使用

平成26年度(2014年度)と平成28年度(2016年度)はわずかに目標達成には至らなかったものの、平成27年度(2015年度)と平成29年度(2017年度)及び平成30年度(2018年度)は目標を達成しました。これは全庁的な節電の取組みが奏功したものと考えられます。

#### (2) 都市ガスの使用

期間中に、既存施設で暖房機器を灯油暖房等から都市ガス暖房に切り替えた施設があること、平成28年11月に開園したよつば保育園の暖房に都市ガス暖房が採用したこと等により、結果的には使用量の増加となりました。

#### (3) LPガスの使用

平成26年度(2014年度)から平成28年度(2016年度)は基準年度と比較して使用量が増加したものの、平成29年度と平成30年度(2018年度)は削減しました。平成25年12月に子育てひろば「ぼこ あぼこ」が、平成29年4月に都市と農村の交流センター「えみくる」がオープンし、それらの使用量が増加しましたが、その他の施設でおおむね減少しているから、目標を達成しました。

#### (4) 灯油の使用

平成26年度（2014年度）から平成28年度（2016年度）は基準年度と比較して使用量が増加し、平成29年度（2017年度）と平成30年度（2018年度）は削減したものの目標達成には至りませんでした。使用量が削減された施設もありましたが、既存施設で暖房機器を重油暖房から灯油暖房に切り替えた施設があること、灯油ボイラーを採用した都市と農村の交流センター「えみくる」が平成29年4月にオープンしたこと、また、環境クリーンセンターにおいて、平成30年9月に発生した北海道胆振東部地震による広域大規模停電が影響し、補助燃料である灯油の使用量が増加したこと等が原因と考えられます。

## （５）重油の使用

平成28年度（2016年度）と平成29年度（2017年度）は基準年度と比較して使用量が増加したものの、平成30年度（2018年度）は削減し、目標を達成しました。既存施設で重油ボイラーから灯油暖房や都市ガスボイラー等に切り替えた施設があることが影響していると考えられます。

## 2 職員の環境配慮行動の実施率

環境管理活動調査表（様式第28号）に基づく江別市職員の環境配慮行動の実施率は、次のとおりです。パソコン関連の環境配慮行動に関しては、担当業務により実施が難しい職員もおり若干実施率は下がるものの、他の項目は概ね90%以上を維持しており、取り組みの浸透がうかがえます。

表2 職員の環境配慮行動の実施率

取り組み項目	実施率（％）				
	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
勤務時間前・昼休み・時間外の不要箇所の消灯	99	99	99	99	99
トイレ・給湯室の不必要時の消灯	98	99	99	99	99
離席する際のパソコン本体やディスプレイ電源OFF	85	88	89	89	90
パソコンの省電力設定	92	92	93	93	92
退庁時にはノートパソコンのプラグは抜き、デスクトップ型パソコンディスプレイ電源をOFFにする	84	85	86	86	88
電気ポットの使用を必要最低限にし、退庁時はプラグを抜く	94	96	96	97	97
空調・冷房の温度管理の徹底及び不要箇所のOFF	98	97	97	97	97
エコドライブを励行する	97	97	97	98	99
出張時は可能な限り公共交通機関を利用する	89	90	93	92	93
両面コピー・印刷の徹底	95	95	96	95	97
必要な枚数のみコピーする	95	95	94	95	96
必ず事前に原稿チェックを行う	96	97	97	97	97
可能な限り縮小印刷機能を活用する	89	92	93	93	95
会議時配布資料等は簡潔にする	95	97	96	97	97
庁内LANを活用し、紙の使用を抑制する	95	93	94	94	94
片面使用済み用紙の裏面を再利用する	91	91	91	92	93
両面使用済み用紙のリサイクル	93	94	95	95	94
ごみの分別の徹底	99	99	99	99	99
グリーン購入適合品の優先的調達	97	96	98	97	99